

【PRESS RELEASE】

報道関係者各位

2025年1月28日

公益財団法人日本デザイン振興会

国立大学法人一橋大学

日本デザイン振興会と一橋大学 企業内のデザイン部門・組織に関する調査研究での連携を開始



公益財団法人日本デザイン振興会（所在地：東京都港区、以下：JDP）と国立大学法人一橋大学（所在地：東京都国立市、以下：一橋大学）は、デザイン組織に関する調査研究分野で協働連携に係る覚書を締結しました。これに基づき、「デザイン組織 KPI」に関する調査研究を共同で実施します。

「デザイン組織 KPI」調査では、社内デザイン部門・組織（インハウスデザイン組織）をもつ国内企業を対象に、同組織の貢献を可視化することで、企業間で量的に比較検討するための主要指標（Key Performance Indicators: KPI）として特定することを目指しています。

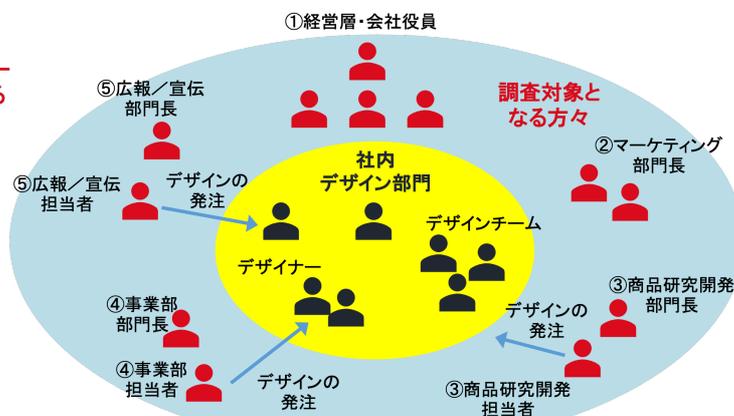
具体的な手法としては、インハウスデザイン組織のパフォーマンスについて、社内のステークホルダーへアンケート調査を実施し、その結果を分析します。

これまで、2022年から2024年にかけて3回実施し、延べ58社が参加しました。

< 企業のデザイン部門のステークホルダー（例） >

デザイン部門のステークホルダー
= 調査対象者として考えられる
5つの部門

- ① 経営層・会社役員
- ② マーケティング部門
- ③ 商品研究開発部門
- ④ 事業部
- ⑤ 広報／宣伝部門
など



今回の連携により、JDP はデザイン領域の学術研究を実施するためのスキルを向上させ、企業のインハウスデザイン組織における人材活用やそれを取り巻く現状を深く理解した上で、デザイン振興に資する取り組みを推進することが可能になります。

また、一橋大学は、JDP の主催事業である「グッドデザイン賞」を通じた企業とのリレーションや、デザイン振興のノウハウを活用して、本調査研究の更なる精緻化を進めることが可能になります。

今後、両者は、本調査研究を進める上で、相互の職員による分析、検討及び意見交換を実施するなどにより、密に協働、連携を進めてまいります。

<「デザイン組織 KPI」調査（2024 年度：第四次調査）概要>

参加いただく企業が、社内のステークホルダーを調査対象者として選定し、インハウスデザイン組織のパフォーマンスについて項目が統一されたアンケート調査を実施。その調査結果を多変量解析（※）や人工知能による分析などの量的手法で分析します。

（※）複数のデータの関連性を明らかにし、データの要約や予測を行う統計的手法。

1. スケジュール

2025 年 1～3 月…アンケート調査の実施

2025 年春頃…速報の取りまとめと参加企業へのフィードバック

2025 年夏～秋頃…総合分析結果と個社分析結果の取りまとめと参加企業へのフィードバック

2. アンケート調査の内容

直近 1 年間に終了した案件全体に関して、インハウスデザイン組織への満足度を尋ねる設問（全 20 問）

直近 1 年間の活動に関して、総合的な満足度を尋ねる設問

3. 参加費用

無料

<過去の調査結果について>

これまでの「デザイン組織 KPI」調査を通じて、デザイン組織 KPI の候補として「対応力、スピード、信頼、コスト」「ブランド力の向上」「提案力、情報提供」「商品価値向上」「知財」「インナーブランディング」「ユーザーコミュニケーション」の 7 つの成分を安定的に導出し、それを用いた重回帰分析でも有意に総合満足度を予測することが確認されています。

過去 3 回の分析結果をまとめた論文は以下のリンクにあります。

<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/24110006.html>

公益財団法人日本デザイン振興会（JDP）について

日本デザイン振興会（JDP）は、1969年の設立以来、50年以上にわたり日本のデザイン振興活動を行う国内唯一の組織です。世界有数のデザイン賞である「グッドデザイン賞」の運営を通して、社会におけるデザインへの理解を促進するとともに、新しい領域における「よいデザイン」を探求し続けています。さらに、さまざまな人や組織、機関と連携し、国内外の幅広い分野にデザインの力を届けることで、よりよい社会への変革を目指しています。

パーパス「デザインを、一人ひとりの力に。」（2023年策定）を社会に実現するために、2030年までに実行する目標の一つとして「DESIGN INSTITUTE（デザインを探求する）」を掲げ、それを構成する取り組みとして、デザイン分野の人材の育成や調査研究の実施・支援を行っています。

<https://www.jidp.or.jp/>

一橋大学 商学部・大学院経営管理研究科 データ・デザイン研究センターについて

AI や IoT といった新たな技術の発展に伴い、これからの経営人材にも新たなニーズが生まれています。「新しい時代に新たな価値を創造できる起業家」の育成を行い、「新領域での研究」を推進することが今後はより求められていきます。一橋大学には、これまでに集積してきた「デザイン思考、デザイン経営」と「ビッグデータ、ソーシャルデータ等の情報学」の知見があります。同センターの活動を通じて、これらの視点を組み合わせ、デザイン・イノベーションの創出を目指します。

一橋大学では、2021年度から「データ・サイエンス」を含む情報学や「デザイン思考、デザイン経営」の視点を組み合わせた学部横断型の教育プログラム（データ・デザイン・プログラム）をスタートさせ、すでに多くの人材を輩出し、卒業生が社会で活躍しています。そうした社会の改善に寄与する教育プログラムの開発のほか、「デザイン経営の標準 KPI 策定」や「プラットフォーム企業」に関する研究を担う、学部・研究科横断的な組織がこのセンターです。

<https://hddrc.net/>

<本件に関するお問い合わせ>

調査研究に関するお問い合わせ：公益財団法人日本デザイン振興会 調査研究担当

E-mail：design-research@jidp.or.jp
